

令和4・5年度 蓮田市教育委員会委嘱

研究紀要

研究主題

生き生きと輝き、伸びゆく児童の育成を目指したキャリア教育の推進



蓮田市立平野小学校

はじめに

教育長あいさつ

蓮田市教育委員会教育長

平野小学校では、令和4年度から2年間にわたり、蓮田市教育委員会の研究委嘱を受け、研究主題を「生き生きと輝き、伸びゆく児童の育成を目指したキャリア教育の推進」とし、全職員が一丸となって研究に取り組まれました。本日、ここに2年間の成果をまとめ、研究発表会が開催されますことに心よりお喜び申し上げます。

さて、令和5年6月16日に閣議決定された第4期教育振興基本計画には、児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する取組を通じて、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくキャリア発達の促進について記されています。また、東京大学社会科学研究所の報告によると、現代の若者は、日常の身近な生活を楽しんでいるものの将来には夢や希望が持てないという思いが年々強まっていると分析し、学校が養うべきは、若者が未来に向かって「準備する力」であると述べられています。これらは、一人一人が自立した個として、かけがえのない自分の価値を知り、人生を自ら切り拓いていく能力と意志や意欲を身に付けることが重要だということを示唆しているのだと言えます。学校では、一人一人の児童生徒に対して、授業や体験活動をとおして、問題解決力などの学び方を身に付けさせるとともに、様々な自治的活動や学級活動をとおして、人と協働しながら、自ら主体的に社会を生き抜く力や人生の設計力を身に付けるキャリア教育の推進が強く求められます。本校では、これらの力を身に付けるべく、特別活動を要とし、全教科・領域等においてキャリア教育の視点での資質・能力を育成する授業実践を進めてこられました。

本日、その研究の一端を公開されますことは誠に意義深いものであります。御参会の皆様にも、本研究発表会を参考に、それぞれの学校において工夫を重ねて実践され、蓮田市の子供たちに、将来社会人・職業人として、その時々々の立場や役割の中で自立していける力が育成されることを願っております。

結びに、本研究の推進に当たり熱心な御指導と御助言をいただきました指導者の皆様方に心より感謝申し上げます。また、佐藤智恵校長をはじめとする教職員の研究に取り組む真摯な姿勢に敬意を表するとともに、今後の一層の研究と実践の充実をお願いし、あいさつといたします。

校長あいさつ

蓮田市立平野小学校 校長

現行の学習指導要領において「特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」が初めて明記され、特別活動（学級活動）に「一人一人のキャリア形成と自己実現」に関する内容が位置付けられました。これを受け、平野小学校では研究主題を「生き生きと輝き、伸びゆく児童の育成を目指したキャリア教育の推進」としてキャリア教育の視点での資質・能力を育成する授業づくりを研究し、実践してまいりました。

研究の走り出しにあたり、児童の実態から、目指す児童像「㉠ 人を大切にする子」「㉡ 自分らしさを出す子」「㉢ のびる努力をする子」の実現に向けた児童の「目指す姿」を系統的に整理しました。その「目指す姿」をもとに、特別活動を要とし、各教科・領域等の特質を鑑み、全教科・領域等におけるキャリア教育の視点での資質・能力を育成する授業の在り方を探り、実践を積んでまいりました。実践の中で、「自分自身について考えること」「自己決定をすること」に重点を置き、達成感・成就感等の「学ぶ楽しさを味わうこと」に繋げる工夫を凝らすことで、自己肯定感・自己有用感を高めることができ、主題に迫ることができました。本校独自のキャリア教育年間指導計画の策定にたどり着けたことも、研究の成果の一つであると捉えています。

本研究の推進にあたり、御支援・御指導をいただきました関係各所の先生方をはじめ、蓮田市教育委員会の先生方に心よりお礼申し上げます。今後ともなお一層の御指導を賜りますようお願い申し上げます、あいさつといたします。

研究の概要

研究主題 「生き生きと輝き、伸びゆく児童の育成を目指したキャリア教育の推進」

1 課題設定の理由

本校児童の埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査結果から、「自分によいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合が低い傾向が分かった。このような課題を解決するために、特別活動に加え、各教科・領域の学習活動の中で系統的な「キャリア教育」を進めることで、自らのよさを実感させ、将来の夢・目標の実現に向け取り組んでいけるようにすることを目指し、本研究主題を設定した。

	A 人間関係形成・ 社会形成能力	B 自己理解・ 自己管理能力	C 課題対応能力	D キャリア・ プランニング能力
低学年	①あいさつや返事することができる。 ②友達となかよくし、助け合うことができる。 ③先生や友達の話をよく聞くことができる。 ④公共の物をみんなで正しく使うことができる。	①自分の好きなことに気付くことができる。 ②仕事の準備や片付けをしっかりと行うことができる。 ③時間を守ることができる。	①活動のめあてをもつことができる。 ②楽しく活動に取り組むことができる。 ③自分の生活や学習の様子を振り返ることができる。	①学級での仕事に責任をもって取り組むことができる。 ②身近で働く人々の様子を知り、家庭の仕事の手伝いの大切さに気付くことができる。
中学年	①相手の目を見て、あいさつや返事することができる。 ②友達との接し方を考え、自分の思いをしっかりと伝えることができる。 ③相手に合わせた言葉を選び、うなずきながら話を聞くことができる。 ④きまりを守り、他人に迷惑をかけずに行動をすることができる。	①自分の良さに気付き、それを生かして行動することができる。 ②仕事の準備や片付けをしっかりと行い、仕事の大切さや楽しさに気付くことができる。	①自らの課題を見つけ、課題を解決するための計画を立てることができる。 ②ねばり強く課題に取り組むことができる。 ③自らの取組に対する振り返りを行い、良い点や改善点に気付くことができる。	①学級での係活動や当番活動等の仕事に責任をもって取り組み、活動を工夫することができる。 ②様々な体験活動をとおして、仕事の種類や内容に関心をもち、今の自分にできることを考えることができる。
高学年	①時と場所に応じたあいさつや返事をするすることができる。 ②相手の思いを考えながら、友達との接し方を考え、自分の思いをしっかりと伝えることができる。 ③自分と他者との違いを認め、自己主張するだけでなく、相手の思いや考えを踏まえながら、話し合いをすることができる。 ④規則を尊重し、他人に迷惑をかけずに人々の役に立つ行動をすることができる。	①自分の長所・短所に気付き、自分らしさを生かして前向きに行動することができる。 ②仕事の準備や片付けをしっかりと行い、仕事の大切さや楽しさに気付き、経験をとおしてさらに成長することができる。	①自らの課題に対して、どのような方法で取り組めば解決できるのかを考えることができる。 ②多様な解決方法があることを知り、ねばり強く課題に取り組むことができる。 ③自らの取組に対する振り返りを行い、次の取組に生かすことができる。	①学級での係活動や当番活動、学校全体での委員会活動等に責任をもって取り組み、活動を工夫改善していくことができる。 ②様々な体験活動をとおして、自らの将来について考え、今の自分にできる具体的なめあてをもつことができる。 ③小中一貫教育・架け橋科をとおして、中学校での教科担任制の授業や部活動等の中学校生活に見通しをもつことができる。

2 研究の組織と専門部の活動概要

研究の組織として、2つの専門部を設置し研究に取り組んだ。以下が活動の概要である。

<授業研究部>

- 目指す児童像の検討
- 指導案形式の検討、事例の創出
- キャリア教育に係る年間指導計画一覧表の作成

<調査・環境部>

- 児童の実態調査の作成、集計・分析
- キャリア教育に関する校内掲示の計画・作成・設置

授業研究部の取組

1 目指す児童像の検討・設定

本校児童の実態を踏まえ、キャリア教育で目指す資質・能力と「ひらの」の頭文字を用いた目指す児童像を関連させて、発達段階ごとに整理した。

2 キャリア教育に係る年間指導計画の整理

目指す児童像の具体的な姿に到達できるようにするために、各教科・領域等の単元を整理し、一覧を作成した。(右図)

3 学級活動の授業展開における黒板表示の統一

学級活動がキャリア教育の要となるため、授業の流れを全学年で統一できるよう黒板表示を作成した。



キャリア教育に係る指導計画 各教科等との関連 (令和5年度版) 藤田立野小学校

	ひ	ら	の	
	人を大切にする	自分らしきを出す	伸びる努力をする	
高学年	A 人間関係形成・社会形成能力 ① 自分と他者との違いを認め、互いに尊重し、協力し合うことができる。 ② 自分と他者との違いを認め、互いに尊重し、協力し合うことができる。 ③ 自分と他者との違いを認め、互いに尊重し、協力し合うことができる。	B 自己理解・自己管理能力 ① 自分の強みや弱みを知り、それを活かして目標を設定することができる。 ② 自分の強みや弱みを知り、それを活かして目標を設定することができる。 ③ 自分の強みや弱みを知り、それを活かして目標を設定することができる。	C 課題対応能力 ① 自分自身の課題に対して、さまざまな方法で取り組むことができる。 ② 自分自身の課題に対して、さまざまな方法で取り組むことができる。 ③ 自分自身の課題に対して、さまざまな方法で取り組むことができる。	D キャリア・プランニング能力 ① 学習での成績や得意分野、学習生活での生活態度から自分の長所や短所を把握し、将来の目標を設定することができる。 ② 学習での成績や得意分野、学習生活での生活態度から自分の長所や短所を把握し、将来の目標を設定することができる。 ③ 学習での成績や得意分野、学習生活での生活態度から自分の長所や短所を把握し、将来の目標を設定することができる。
5年	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳
6年	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳	国語 社会 算数 理科 音楽 図工 家庭 体育 外国語 総合 道徳

4 各学年における主な実践事例

(1) 1年 生活科「ありがとうがいっぱい」
キャリア教育の視点【低学年 C-③】



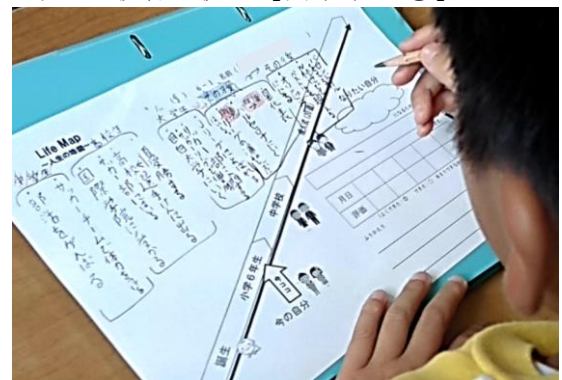
(2) 2年 学級活動「あいさつ名人になろう」
キャリア教育の視点【低学年 A-①, C-①】



(3) 3年 学級活動「4年生に向けて」
キャリア教育の視点【中学年 C-①, ②, ③】



(4) 6年 学級活動「なりたい自分になるために」
キャリア教育の視点【高学年 D-②】



(5) 1・6年 国語「みんなで楽しく過ごすために」
キャリア教育の視点【高学年 A-②, ③】



(6) 6年 架け橋科「中学校への架け橋」
キャリア教育の視点【高学年 D-③】



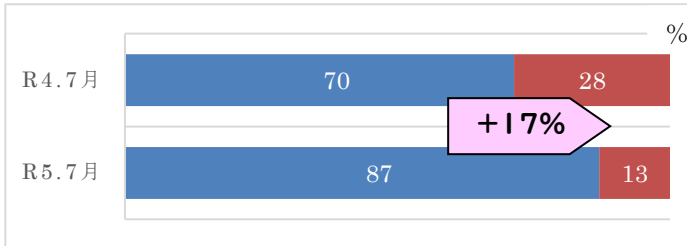
調査・環境部の取組

1 キャリア教育に係るアンケート調査より

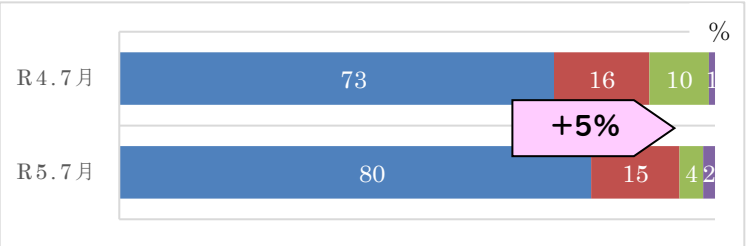
■ : ある ■ : ない

■ : とてもそう思う ■ : どちらかといえばそう思う
■ : どちらかといえばそう思わない ■ : そう思わない

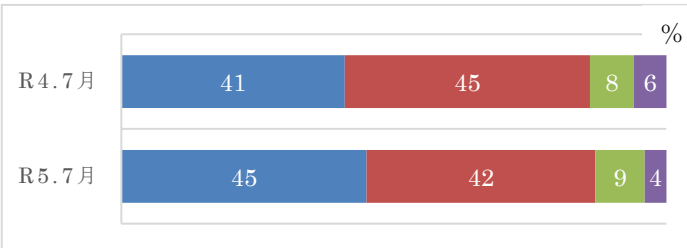
・あなたには、将来の夢や目標がありますか。



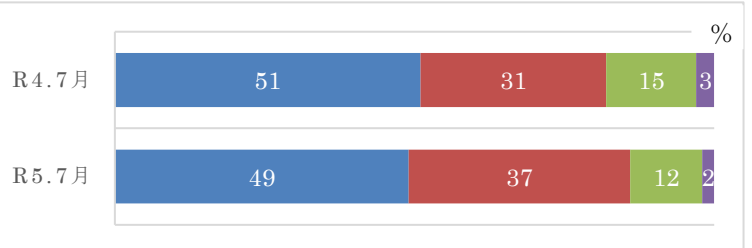
・あなたは、将来の夢や目標をもつことは大切だと思いますか。



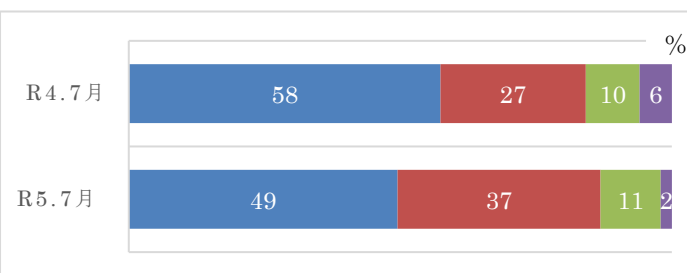
・あなたは自分のよさがあると思いますか。



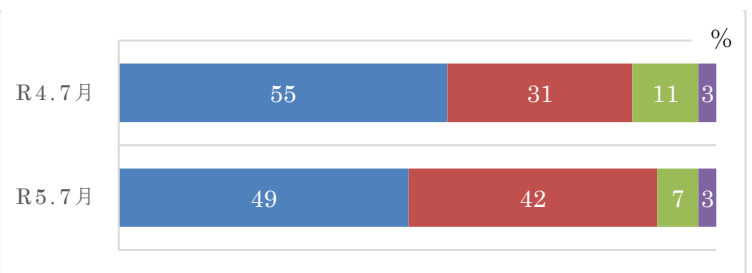
・自分の興味や長所や短所などについて、自分で知ろうとしていますか。



・学ぶことや働くことの意義について考えたり、学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。



・自分の将来について具体的な目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。

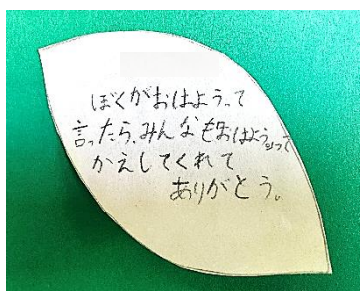


2年間にわたる継続的な取組の成果として、どの項目も一定の向上が見られた。特に将来の夢や目標についての意識に関する項目の伸びは著しかった。

2 校内掲示の環境整備

(1) にこにこの木&にこにこバスケットの設置・運用

毎月25日を「にこにこデー」とし、友達や他学年の児童に向けた温かいメッセージを掲示している。



(2) 目指す児童像を示した掲示物の作成・掲示

各学級に加え、3階廊下に特設掲示を設置した。

平野小学校 キャリア教育で身につけたい力 1・2年生

ひととつながる力

①あいさつやへんじをする。
②もだちとながよくし、しっかりとあやまることができる。
③せんぱいやもだちのはなしをよくきく。
④みんなのものをたたくつかう。

しんぶんを知る力

①じぶんのすきなことをしる。
②じぶんのじゅんぴやがたづけをしっかりとおこなう。

かえし 問題を解決する力

①かつどうのめあてをもつ。
②いっしょうけんめいにかつどうにとりくむ。
③じぶんのせいけんやがくしゅうのようすをふりかえり、よかつたところや、なおせるところをみつかる。

みらい 未来をよりよくなる力

①がつぎのうでのかきりかつどうにせきじんをもつとりくむ。
②みちがではたらくひとのようすをしり、かていのしごとのでたいのたいせつさがわかる。

(3) 各学級の足跡残す掲示「Step by Step」の設置

児童の直筆のコメントを入れて、掲示している。



成果と課題

【成果】

- ・「キャリア教育」の考え方を全教職員で共通理解することができ、日々の授業の中で目指す児童像を念頭に置いた学級経営、行事計画が進められるようになった。
- ・学級活動（3）の授業展開についての共通理解が図られ、実践事例を蓄積することができた。
- ・2年間にわたって実践をしながら、「キャリア教育に係る年間指導計画」の修正・見直しを行ってきたことで、学級活動以外の教科・領域の中での「キャリア教育」についての意識づけができた。
- ・全学年単学級の本校の特色を生かした異学年交流の活動を計画に基づいて実践することができ、発達段階に応じ、他学年との関わり方を学ぶ機会を積極的に設けることができた。
- ・キャリア・パスポートの活用を、学級活動をはじめとした各教科等の学習の中で取り入れ、児童自らが、過去の自分を振り返りながら自己決定をする学習活動を行うことができた。

【課題】

- ・平野小・中学校区学校運営協議会、PTAとも連携し、児童のよりよい育ちを支援していけるよう積極的な情報発信を行っていく必要がある。
- ・本校は、児童が多様な大人と関わるのが少ない実態がある。そのため地域の教育力を生かし、学習内容に応じて、地域の方をゲストティーチャーとして招聘した学習活動を積極的に行い、「社会に開かれた教育課程」のさらなる推進をしていく必要がある。
- ・平野小中一貫教育の取組とも関連させ、目指す児童・生徒像を共有し、義務教育9年間でのつながりのある一体的な指導・支援を行えるような体制を構築していく必要がある。

ご指導いただいた先生方

紙媒体でのみ公開

研究に携わった教職員

紙媒体でのみ公開